

# ふじい弘之 ちば県政報告

平成23年 夏号



今期初の県議会（6月定例会）にて、代表質問に登壇しました。  
16の分野について質問いたしましたでしたが、そのうち2つを掲載します。

## 東京湾の津波と高潮対策

**ふじい弘之** 「東京湾が満潮の時に、高さ3メートルの高潮が来た場合、その浸水面積は、実に2万8323ヘクタールだと伺っております。（略）防潮堤、水門、陸こう等の施設の老朽化の状況はどうか。また、老朽化した施設の改修計画はどうなっているか。」

副知事 「沿岸の施設は165施設ある。うち昭和30年代から50年代にかけて整備した大規模施設が38施設ある。これらのうち4施設は整備着手した。  
平成26年までに残り施設の改修計画を立てたい。」



## ガソリン不足問題

**ふじい弘之** 「今回の大震災では、県内石油精製所の火災や物流の滞りなどでガソリン不足、燃料不足が大きな問題となりました。（略）県は業界団体と災害協定を結ぶ中で優先的な提供を受ける協定を締結すべきと思うがどうか。」

副知事 「緊急車両は応急処置等に欠かせない。燃料確保のために石油商業組合との間で早期に締結できるよう努力する。」



## その他の主な質問項目

- ・ 知事の政治姿勢について
- ・ 防災教育の取組みについて
- ・ 農林水産物の補償問題について
- ・ 児童虐待について
- ・ 化学物質過敏症について
- ・ 交通安全対策について

## ◇東葛北部県立公園の放射線を測定

6月22日の代表質問において、ホットスポットである「東葛地域の県立都市公園は放射線量測定を行うべき」と質しました。

ところが、県は「市町村に貸し出す放射線測定器を活用して、地元市町村と連携して実施したい」というのです。しかし、測定場所を決めるのは市町村であり、県立都市公園が測定されるには限りません。しかも、貸し出しは8月以降の話です。

そこで、県がやらないのならわれわれが、ということと、議会休会日の6月29日に放射線量測定を行いました。

松戸市では「21世紀の森と広場」、柏市では「手賀の丘公園」「柏の葉公園」、我孫子市では「水の館・手賀沼親水広場」、野田市では「県立関宿城博物館」、流山市では「流山市総合運動公園」、鎌ヶ谷市では「市制記念公園」の7か所です。

さらに比較のために、市川市の「本八幡公園」も測定しました。

